

男女共同参画推進市民会議の取り組み

男女共同参画推進市民会議とは男女共同参画を推進するために活動している市民グループです。市民会議では、市内の企業を訪問して、職場での男女共同参画の状況を把握し、各企業の特徴ある取り組みを市民の皆さんに紹介しています。

今回は、株式会社金津村田製作所を訪問し、社員の皆さんに家庭での育児や家事の分担、仕事との両立などについて、お話を伺いました！

今回の訪問企業

株式会社金津村田製作所

【企業紹介】

電子部品で圧倒的な世界シェアを誇る村田製作所の生産拠点であり、スマートフォンや生活家電など身の回りにある数多くの完成品に内蔵されるコネクタ・DCモジュール・高圧抵抗器などを生産し、あわら市から世界に向けて供給しています。また、新たに太陽光パネルで発電した電気など再生可能エネルギーを活用できる「蓄電池システム」の製造をスタートし、生産拠点として新たな一歩を歩み始めています。



【企業の取り組み】

働き方改革の一環として、残業ゼロデーや勤務インターバル制度の導入、両立支援を目的としたカフェテリアプラン制度、がん治療と仕事の両立支援制度の導入など、働く環境向上にも努めています。また、地域交流活動として、海岸清掃や学生向けキャリア学習、地域イベント参加なども積極的に行っています。



男性社員Aさん

共働きのため、家事はなんとなく夫婦で役割が決まっていますが、余裕がある方が率先してやっています。

会社は男性の育児休暇取得を推奨していますが、夫婦で相談した結果、妻のみの取得の方がメリットがあると判断しました。現在は、妻が仕事で忙しいときに子どもが急に病気になった場合などは、自分が有休を取得して病院に連れて行っています。

職場では上司・同僚ともコミュニケーションが取りやすく、休暇も取得しやすい環境です。子どもの学校イベントにも有休を取って参加しています。家では普段見せない子どもの顔を見ることができて良いですね！



女性社員Bさん

夫が単身赴任中のため、家事は全て自分がしていますが、少しでも負担が減るように工夫しています。また、ロボット掃除機や食洗器など家事効率化家電の購入も夫婦で検討しています！

育児では時間に追われることが多く、つい子どもを急かしてしまうところが反省点ですが、「働くお母さんはカッコイイ」と感じてもらえるよう、愛情を注ぎながら仕事と家庭の両立を目指して、いろいろと改善していきたいです。

職場では女性のみが担当する仕事という意識はなく、男性・女性社員ともに活躍しています。まだまだ「女性は家庭」という考え方が一般的だと考えますが、社会が大きく変化する中で、両立支援を推進する制度が導入され、労働環境も大きく変わってきていて、女性が働きやすい会社だと思います。



編集後記

今回は、会議のメンバー4人で訪問しました。インタビューした社員の皆さんは、とても話しやすく話も盛り上がり、二人とも魅力的な家庭であることがよく分かりました！今後も、市内の魅力ある企業を訪問して、このような機会が持てることを願っています。(男女共同参画推進市民会議委員)